

会 議 名	令和5年度 第2回 匝瑳市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和5年6月23日（金） 14:00～15:10
場 所	市民ふれあいセンター 3階大ホール
出 席 者	<p>【委員】 (出席：15名) 藤井副会長、鎌形委員、菊間委員、飯島委員、河合委員、笹本委員、崎山委員、成田委員、高山委員、熱田委員、渡辺委員、高橋委員、小松委員（代理出席：南副主査）、井上委員、上田委員</p> <p>(欠席：6名) 小林委員、加藤委員、平山委員、橋口委員、伊藤委員、齋藤委員</p> <p>【事務局】 匝瑳市環境生活課市民協働班 林環境生活課長、米本主査補、鈴木主任主事</p>
会 議 概 要	1 開会 2 副会長あいさつ 3 議事 (1) 生活交通確保維持改善計画（案）について (2) デマンド型交通の利用状況について (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	資料1 匝瑳市地域公共交通活性化協議会委員名簿 資料2 生活交通確保維持改善計画認定申請書（案） 資料3 匝瑳市デマンド型交通実績表（4月・5月）

会議結果概要

(1) 生活交通確保維持改善計画（案）について

資料2について事務局から説明後、質疑応答

副 会 長	・ 事務局の説明が終わりました。御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。
委 員	・ 2の目標・効果について、令和4年度の申請と変わった所はどこですか。
事 務 局	・ 市内循環バスについては、変更はありません。デマンド型交通については、4月と5月の実績から、計画運行回数を1日12回から1日8回に修正したことで、目標収支率を21.6%から13.8%へ、目標利用者数を各エリアの1日の平均利用者数13人を9人へ変更しました。
委 員	・ 現状維持ということですか。
副 会 長	・ 循環バスについては、現状維持、デマンド型交通については、下方修正ということになります。
副 会 長	・ その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。本件につきましては、原案のとおり決することに御異議ありませんか。
委 員 一 同	・ 異議なし。
副 会 長	・ ありがとうございます。続いて、議事2に移ります。

(2) デマンド型交通の利用状況について

資料3について事務局から説明後、質疑応答

副 会 長	・ 事務局の説明が終わりました。次回以降は、図示と目標の表記をしていただきたい。それでは、御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。
委 員	・ デマンド型交通の2ヵ月実績で、乗合い人数と乗合い率については、それぞれいくつですか。次に、予約のお断り状況について教えてほしい。最後に、資料2のデマンド型交通の目標修正について、目標と比較する実績は資料3のどこでわかりますか。
事 務 局	・ 乗合い人数と乗合い率につきましては、4月が12人の9.6%、5月が15人の9.26%です。
委 員	・ 分母はなんですか。
事 務 局	・ 各月、各エリアの延べ人数です
委 員	・ およそ90%が一人の利用ですか。
事 務 局	・ そのとおりです。次に、予約のお断り状況につきましては、4月が13件で、主な理由としては、すぐ来てほしいという要望に対し、制度上の1時間後の利用を提案したところ利用しませんでした。5月は9件で、主な理由としては、9件のうち7件が、利用したい日時に別の予約が入っていたため、予約が成立しませんでした。
事 務 局	・ 最後に、実績につきましては、資料3の3ページの(3)利用件数欄2エリア全体で2ヵ月合計5,98人になります。
副 会 長	・ 匝瑳市ではタクシー券の配布を行っていて、4月、5月はタクシー券の利用

者が多く、デマンド型交通の利用が少ない。しかし、資料ではタクシー券を持っていない人の登録、利用も見られ、今後はタクシー券を使い終わった方の利用が増えるなど、デマンド型交通は、利用者が増える要素はある。国への補助申請では、今後の動向がわからず、補助金交付の条件である計画運行回数の3割達成のため、安全面を考慮し12回を8回にしている。そういった全体像を工夫して説明してほしい。

委員 ・ 目標数値を変えたことについては、事前に配布している資料から分かるようにしていただきたい。

委員 ・ 匝瑳地区の利用者が少ないのは何か事情がありますか。

事務局 ・ 人口が市内12地区のうち、下から3番目であり、そのため、他地区よりも登録者と利用者が少ないのではないかと想定しています。

副会長 ・ 匝瑳地区が循環バスを使うエリアかどうかといった点もデマンド型交通の利用と併せて説明してほしい。

委員 ・ 先ほどすぐ来てほしいといった利用者がいると言っていたが、そもそもデマンド型交通は乗り合わせで経費を安くし、複数の利用者が乗合いでそれぞれの目的地へ行くため希望の時間通りとはいかない。仕組みをしっかりと理解してもらい、乗り合わせ率を高めるように案内してほしい。もう一点、資料4については、この場限りの資料ですか。

事務局 ・ はい、利用者IDの記載があるため、この場限りの資料であり、ホームページに掲載もしません。

委員 ・ 資料4の同乗とは何ですか。

事務局 ・ 同乗は、家族や友人同士で同じ乗車ポイントから乗った件数です。

委員 ・ 登録番号が近くおそらく同居の家族と考えていたが、同乗については、乗合いに含まれていませんか。家族など2人で利用した場合は、乗合いとは別であり、定義づけが必要になってくると思います。

事務局 ・ 同乗については、乗合いの内数となっています。

副会長 ・ 様々な数字を把握することは必要です。しかし、先ほども話が出たように、乗合いを理解してもらっているかが大事です。他市の例で、コロナ禍でデマンド型交通の利用が増えたところもあり、理由としては、何時も空いていて、一人で利用でき、乗合いが少ない、そもそも乗合いが嫌だという事もあります。地域の理解が必要であり、料金、仕組みなど制度を刷り込んでいく必要があると思います。

委員 ・ オペレーターによるお断りや予約センターの運用などは、市で行っていますか。委託業者で行っていますか。

事務局 ・ 委託業者で行っています。

副会長 ・ 使っているのはコンビニクルというシステムで、予約や利用の時間などは安全面を考慮して設定していると思います。中央地区だけなら乗合いでの利用をつなげられますが、他の地区では行く方面次第となってしまいます。対応としては、台数を増やす以外ない。お断り率が上がったとき、市がどうするか。どういう段階で対応していくか。乗合い率を上げる方法を考え、使い方の例を示

委員	・ すなど使ってもらえる工夫をしていただきたい。何か、デマンド型交通の委託業者として意見はありますか。
副会長	・ 病院の予約については、帰りの時間が読めません。また、12時から13時を運転手の昼休憩としているため、制度上の1時間前の予約で11時近くに電話予約があった場合は、大体が13時以降の案内になってしまいます。13時まで待ってデマンド型交通を利用するか、一般タクシーを利用するか、循環バス又は路線バスを利用するかの利用者選択になります。
副会長	・ ありがとうございます。やはり、11時から13時までの予備車対策が必要なため、事務局が検討していただきたい。また、委託業者の車の手配もあるため、予備車の協議やお断りの改善の実証をしていただきたい。今後、タクシー券の利用が増え、デマンド型交通の利用が増える前に、前倒しの検討をしていただきたい。
委員	・ 天気の実績もしたほうがよいと思います。雨天時にどの程度増えるかなど統計を取ったらいかがでしょうか。
事務局	・ 貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。
委員	・ 資料4について、タクシー券の標記に○がある方は、タクシー券の所有者でデマンド型交通を利用しているということでしょうか。
事務局	・ はい、タクシー券を所有している方です。
委員	・ キャンセルについては、何件ありますか。
事務局	・ 当日キャンセル以外のキャンセル、誤入力、日時乗降場所変更、病院絡みのキャンセルを除き、当日キャンセルのみで4月1件、5月8件です。
委員	・ 土曜日の乗車についてはどの様になっていますか。
事務局	・ 利用が少なく、0件の日もあります。
副会長	・ 本来の趣旨の遠方の方に利用されているか、地区別に利用者の把握をしてほしい。
副会長	・ その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。続いて、議事3に移ります。

(3) その他について

副会長	・ その他、皆様から御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。
事務局	・ 次回協議会のスケジュールについて、本年6月1日からの高速バスの時刻改正について、委員の異動についての3点を報告。
委員	・ 高速バスの時刻改正については、利用者が少なく、乗務員不足もあり、減便はしましたが、利用者の要望に合わせた時刻改正も行いました。
委員	・ 高速バスの時刻改正のチラシについて、駐車場マークは何を表しているか。
委員	・ バス停付近に駐車場があることを表しています。
副会長	・ その他、皆様から御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。それでは、御意見、御質問等がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。以上で、全ての議事が終了いたしました。お疲れ様でした。